

補助金・交付金 チェックシート (No.1)

補助金名 (交付金名)	函館市地域放課後児童健全育成事業障がい児受入準備補助金	開始 年 度	平成24年度
団 体 名	函館市地域放課後健全育成事業委託事業者	団体等 の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 課税事業者 <input checked="" type="checkbox"/> 免税事業者
助成の根拠規定等 (条例・規則・要綱等)	函館市地域放課後児童健全育成事業障がい児受入準備補助金交付要綱		

○補助事業の内容および目的・効果

内 容	本市の放課後児童健全育成事業において、障がいのある児童を受け入れるための環境整備に要する費用に対し補助金を交付する。
目 的	(目 的) 放課後児童健全育成事業を実施している者に対し交付することにより、障がいのある児童のそれぞれの特性にあった保育を行う環境を作り出すことを目的とする。
・ 効 果	(効 果) 放課後児童健全育成事業を実施している者に対し交付することにより、障がいのある児童のそれぞれの特性にあった保育を行う環境を作り出すことができる。

○補助事業の収支状況 ※上段:補助事業等に要する経費 [下段]:補助対象経費 (単位:千円)

	年 度	助 成 金		事業収入	会 費	繰越金	その他	計
		市	その他					
収	R3 (決算)	515 [515]					5 [5]	520 [520]
	R4 (決算)	523 [523]					4 [4]	527 [527]
	R5 (決算)	496 [496]					6 [6]	502 [502]
入	R6 (決算)	381 [381]					5 [5]	386 [386]
	R7 (予算)	600 [600]						600 [600]
支	年 度	人件費	事務費	事業費	上部団体 負担金等			計
	R3 (決算)			520 [520]				520 [520]
	R4 (決算)			527 [527]				527 [527]
	R5 (決算)			502 [502]				502 [502]
	R6 (決算)			386 [386]				386 [386]
出	R7 (予算)			600 [600]				600 [600]

補助金・交付金 チェックシート (No.2)

補助金名 (交付金名)	函館市地域放課後児童健全育成事業障がい児受入準備補助金
----------------	-----------------------------

○基本的視点の再チェック

基本的視点		適	不適	説明
1	公益性 (明確な公益性があるか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	小学校に就学している児童であって、その保護者が労働等により昼間家庭にいないものにつき、家庭、地域等との連携の下、発達段階に応じた主体的な遊びや生活が可能となるよう、当該児童の自主性、社会性および創造性の向上、基本的な生活習慣の確立等を図り、もって当該児童の健全な育成を図ることを目的として行う施設であり、高い公益性がある。
	①広く市民生活の向上に貢献 する事業	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	②市民ニーズが高い事業	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
2	必要性(補助しなければならぬ事業であるか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	放課後児童クラブを利用する児童として、児童が障がいを持つ場合が想定されており、当該児童の受入にあたって環境整備をする必要性がある。
3	自主性(自主自立に向け努力しているか)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	放課後児童健全育成事業とは、法第6条の3第2項に規定する事業であって、市長の監督に属しており、自立を目的としていない。
4	有効性(他の手法ではなく補助することが、施策目的実現に最適か)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	障がいのある児童を受け入れて支援するにあたり、経営基盤の脆弱な事業者にとって、その施策目的実現にあたり市が補助することは最適である。

○財政的視点のチェック

財政的視点		不適	不適の場合の理由と今後の対応について
1	積算内訳は、前年踏襲となっていないか	<input type="checkbox"/>	
2	補助金等の使途は適切である	<input type="checkbox"/>	
3	積算基準は定められている	<input type="checkbox"/>	
4	補助割合は、補助対象経費の1/2以内である	<input checked="" type="checkbox"/>	クラブの運営事業者は経営基盤が脆弱であり、資金調達に苦慮している実情にあるため、補助対象経費の全額を予算の範囲内で交付する。
5	前年度繰越金は生じていないか	<input type="checkbox"/>	
6	自主財源の確保に努めている (最低でも前年度の収入を確保しているか)	<input checked="" type="checkbox"/>	クラブが障がいのある児童を受け入れるにあたっての必要経費として、予算の範囲であれば全額補助するものであり、その場合において自主財源の確保を求めているいない。
7	経常経費の節減に努めているか	<input checked="" type="checkbox"/>	障がいのある児童の受入のための補助であり、経常経費は対象としていない。

# 補助金・交付金チェックシート(No.3)

補助金名 (交付金名)	函館市地域放課後児童健全育成事業障がい児受入準備補助金
----------------	-----------------------------

## ○補助効果の検証

(効果測定方法, 具体的な数値等)

当該年度に当該補助金の活用以降を調査し実施している

令和3年度	8施設
令和4年度	9施設
令和5年度	9施設
令和6年度	8施設

(達成状況)

障がいのある児童の受入にあたって物品等の購入等を行い、環境を整備することで、障がいのある児童のよりよい支援が可能となった。

令和3年度	8施設	22人
令和4年度	9施設	24人
令和5年度	9施設	23人
令和6年度	8施設	26人



(評価)	(理由)
十分効果をあげている <input checked="" type="checkbox"/> 一定の効果をあげている <input type="checkbox"/> 効果が疑問である <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/>	放課後児童健全育成事業を実施している者に対し交付することにより、障がいのある児童のそれぞれの特性にあった保育を行う環境を作り出すことができていると考える。

## ○今後の方向性

<input checked="" type="checkbox"/> 現行のまま補助を継続	(見直しの内容)  障がいの種類やその特性は多種多様であり、障がいのある児童のそれぞれの特性にあった保育を行う環境を作り出し続けることは必要である。  (見直しの時期)
<input type="checkbox"/> 見直したうえで補助を継続	
<input type="checkbox"/> 廃止	
<input type="checkbox"/> その他	

  

(廃止の理由)	(その他の内容)
(廃止の時期)	

## ○終期の設定

終期設定	<input type="checkbox"/> 終期到来により廃止	次回チェック年度(予定)
令和 9 年度	<input checked="" type="checkbox"/> 終期到来時に再検討	令和 9 年度